人権週間 4(土)～10(金)

海老名駅自由通路で 街頭啓発活動

12月4日(土)から10日(金)は「第56回人権週間」です。市では次の行事を行います。

街頭啓発活動

▽日時　12月9日(木)午前11時～正午
▽場所　海老名駅東口自由通路。

一人ひとりが笑顔の社会をめざして…

9日(木) 市役所(市民相談室)で特設人権相談

特設人権相談

法務大臣から委嘱を受けた人権擁護委員が相談に応じます。お気軽にご利用を。相談は無料で秘密は守られます。

▽日時　12月9日(木)午後2時～4時　▽受付場所　市民相談室　▽相談事項　親族・近隣・悩み事一般。

●毎月第4火曜は相談日

人権相談は、特設相談以外にも、毎月第4火曜日、午後1時～4時に市民相談室で行っています。また、人権擁護委員の自宅でも受け付けています。相談前に必ず電話で連絡を取ってください。

※市では、人権相談のほか、法律、登記、女性、不動産相談などの相談業務を行っています。

問　広聴相談課広聴相談担当

●市内の人権擁護委員

◆近藤淑子(こんどうよしこ)氏＝中野395(☎238・3947)
◆鴨志田英江(かもしだふさえ)氏＝大谷3353－3(☎232・4694)
◆土屋喜良(つちやきよし)氏＝柏ケ谷383(☎233・1982)
◆山田憲政(やまだのりまさ)氏＝中新田152(☎232・6633)
◆大西幸道(おおにしこうどう)氏＝国分北2－13－40(☎231・5074)
◆尾上高穂(おのうえたかほ)氏＝中河内1191(☎238・3834)
◆二見隆江(ふたみたかえ)氏＝本郷520－4－ロ(☎238・5574)

市政の現場から

給与の削減

市長　内野　優

人材確保の条件で重要なもののひとつが給与(報酬)です。

現在、私のほか助役、収入役そして教育長にも協力願ってそれぞれの給与を20％削減しています。

市長である私は、公職選挙法の規定によって「選挙区内にある者に対する寄付行為」が禁じられており、給与条例を改正して今年4月から削減しています。

一方、助役、収入役は公職選挙法で規定する政治家をめざす「候補者等」ではないため、給与を返上しても寄付行為とはならず、庁内の意思決定行為である決裁を経て「20％返上」という形で削減を実施しています。

また、教育長の給与についてはこれを定めた法律が市長、助役、収入役の給与について定めるものとは別の法律であり、詳細を定めた市条例も異なりますが、同じく決裁を経て「20％返上」しています。

助役、収入役は就任時から、教育長は4月から15％削減し、再任され新たな任期が開始された10月からは20％の給与削減を行っています。

一方、一般職員の給与は人事院勧告に従って増減しますが、同勧告は16年は据え置きとされたものの、14年、15年と連続して「減額勧告」が行われており、本給が2年連続で減額されています。また、ボーナス等については平成11年以降毎年のように減額されてきています。

私が自分のほか助役など特別職にも協力を得て給与削減を実行しているのは、財政の弾力性(必ず支出される経常経費が少なく、新たな事業に多くの資金を使える状態)を向上させるために経常経費の多くを占める人件費を抑制したいと考えるからです。

すでに一般職員の給与も実感できるレベルで削減されてきており、そうした中で特別職が範を示す必要があります。

今後も職員数の削減や事業の民間委託など経常経費削減対策を進め、「より小さな政府で、より大きな仕事をする」ことをめざし、市民のみなさんに納得していただける行政を展開していきたいと念願しております。

最終報告案を提出

総合バス交通システム検討市民会議

このほど、「総合バス交通システム検討市民会議」が内野市長に最終報告書を提出しました。

市民会議は公募による市民で構成され、駅やバス停まで距離があり、公共交通機関が利用しづらい地域の解消に向け、平成14年から研究を重ねてきました。

●内容

集大成ともいえる最終報告書は次のような内容がまとめられています。

①国分地域で試験運行中のコミュニティバス(以下コミバス)は、本格運行への移行が不可欠とし、要望の多い運行本数の増加・路線延長などについて、その費用負担のあり方を含め、いくつかのケースを試算。

②上今泉、大谷、南部地域に対する一案として、コミバス手法による対応方策。

③市内各地域に対応方策を実施した場合、コミバス利用者から見た公平性と、各路線の公費負担額から見た公平性。利用促進方策、運行経費軽減策等。

市では、この報告書や地域の実情、費用と効果の関係などを踏まえて総合的に検討し、今後の方向性を見いだします(報告書の詳細は市ホームページに掲載)。

問　企画経営課企画調整担当。

「ごみを減らすため家でしていること」

大谷小学校　四年三組　山口　陽

買い物をするとごみになる物が多いなと感じます。私はももが好きなのでももを買ってもらいます。するともも、トレイに入って、上からラップがしてあります。おかしは箱に入っている物が多くあります。飲み物はペットボトルとか紙のパックに入っています。食べたり飲んだりした後はごみがたくさんでます。それから食べ物も皮とか魚の骨とかいろんな物が生ごみになります。

私のうちでは、ごみを少なくするために、生ごみはできるだけ水分をへらしています。お母さんはネットに入れて力いっぱいしぼって水分を出しています。おばあちゃんはコンポストに入れてひ料にしています。ペットボトルは分別してリサイクルに出しています。ペットボトルを出す時私はお母さんから「ふみつぶしてちょうだい」と言われます。それからラベルをはがすのも私の仕事です。

私はうらが白いチラシはお絵かきに使います。お母さんはメモを書いたり、計算用紙に使ったりします。なんにも使わないのはもったいないからです。

お姉ちゃんは分別にうるさくて、うちのリサイクルチェック係りです。私のうちではごみを少なくするためにみんなができる事を、がんばっています。

美化推進

功労者とアイデア作品入賞者を表彰

道路・公園・公共施設の清掃など長年にわたり、地域の美化活動に努められた方を表彰する美化推進功労者と、美化意識の高揚とごみの減量を図るため市内小中学校から募集した「我が家のごみ減量作戦」をテーマとするアイデア作品(応募298点)の入賞者が次のとおり決まり、11月21日の産業まつり会場で表彰されました(敬称略・順不同)。

◎美化推進功労者

▽市長表彰▼団体の部　勝瀬寿会(勝瀬)、望地自治会第5組(望地)▼個人の部　新岡イツ(東柏ケ谷)、中村とり(東柏ケ谷)
▽会長表彰▼団体の部　日産プリンス神奈川販売㈱海老名店(上郷)▼個人の部　土居道明(国分南)、柳澤須佐男(国分南)

◎ごみ減量アイデア作品

▽金賞▼小1年　坂本百合菜(東柏ケ谷)▼小2年　豊島駿一(大谷)▼小3年　井上悠里(杉久保)▼小4年　山口陽(大谷＝右作文は同君の作文)、石室真由佳(東柏ケ谷)▼小5年　佐藤峻帆(東柏ケ谷)▼小6年　八木舞子(杉本)
▽銀賞▼小1年　鈴木裕之(杉久保)▼小2年　落合翔(社家)、山口菜奈(有馬)▼小3年　空賀峻太郎(中新田)、堂添裕太郎(海老名)▼小4年　熊野万里子(上星)▼小5年　高橋亮(海老名)▼小6年　中川直美(上星)、林春薫(門沢橋)
▽銅賞▼小1年　小岩駿介(東柏ケ谷)▼小2年　弓倉萌里(中新田)、尾上莉果子(有馬)、関岡美音(東柏ケ谷)▼小3年　勝又瞬(有鹿)、古屋千彩希(海老名)、佐藤みなみ(東柏ケ谷)▼小4年　杉崎遥香(中新田)、海谷美菜子(東柏ケ谷)、松本琴乃(上星)▼小5年　小松眞子(杉久保)、安積里沙(上星)▼小6年　嶋田優子(杉本)、坂田ほのか(杉本)、新田里紗(杉久保)、福本千晶(上星)▼中3年　坂田隼人(海老名)。

◎入賞作品は市ホームページに掲載されています。

問　資源対策課管理担当。